

令和3年度 入学生用 [国 語 科] シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	国語総合(古典)	2(4)	必修科目	1年	
使用教科書	精選国語総合 新訂版(大修館)			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。																		
学習方法	古語に触れるために現代語訳をさせ、古典の物語に親しみを持たせる。																		
学習評価	<table border="1"> <tr> <th>育成を目指す資質・能力</th> <th>育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> <tr> <td>1 基盤的学力</td> <td>文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。</td> </tr> <tr> <td>2 問題発見・解決能力</td> <td>問いを立て、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3 情報活用能力</td> <td>情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4 主体的判断能力</td> <td>物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。</td> </tr> <tr> <td>5 協働力</td> <td>他者を尊重し、協働することができる。</td> </tr> <tr> <td>6 自律力</td> <td>規範意識をもって自律的に行動することができる。</td> </tr> <tr> <td>7 実践力</td> <td>自ら考えて行動し実践することができる。</td> </tr> <tr> <td>8 自己認識力</td> <td>自分の思考を客観的に捉えることができる。</td> </tr> </table> <p>以上の観点をふまえ、授業の取り組みや定期考査、課題テスト、課題提出状況などを総合的に評価します。</p>	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。	2 問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。	5 協働力	他者を尊重し、協働することができる。	6 自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。	7 実践力	自ら考えて行動し実践することができる。	8 自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。
	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																	
	1 基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。																	
	2 問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。																	
	3 情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。																	
	4 主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。																	
	5 協働力	他者を尊重し、協働することができる。																	
	6 自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。																	
	7 実践力	自ら考えて行動し実践することができる。																	
8 自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。																		
担当者から	新しい単元に入る時には、予習として本文を音読してきてください。また、単元によっては、語句の意味を調べることや現代語訳を予習してもらったこともあります。古語は難しいですが、読んでみると面白い昔話ですので、物語を楽しみながら学習をしましょう。																		

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価基準	評価方法		
				1	2	3	4	5	6	7	8				
4	一 古文	1 古文入門	「ねずみの婿とり」	○			○					○	昔の言葉と現代の言葉とのつながりを理解する。	授業態度 発問に対する応答 課題の取り組みと提出 定期考査 などを元に評価を行う。	
4		2 説話	「児のそら寝」	○	○		○						説話を読み、古文の読み方の基礎を確認する。		
5			「絵仏師良秀」	○	○		○						登場人物の行動に注目して読み、場面の展開を把握する。		
5		3 随筆	徒然草「これも仁和寺の法師」他 枕草子「春はあけぼの」他	「阿蘇の史、盗人にあひてのがること」	○	○		○							古典作品と近現代作家・文学作品のつながりを理解する。
6				○	○		○								随筆の文章表現の特色について理解する。
6				○		○	○								
7	○				○	○								漢文を学ぶ意義を理解する。漢文訓読のきまりを理解する。	
8	二 漢文	4 漢文入門	再読文字 助字	○									格言を繰り返し遠国して、ものの見方、考え方を広げたり深めたりする。		
8			訓読に親しむ	○			○				○				
9		2 故事成語	借威虎 漁夫之利 蛇足 朝三暮四	○			○		○					漢文訓読のきまりを理解する。	
9				○			○		○					故事成語を読んで、ものの見方、考え方を広げたり深めたりする。	
9				○			○		○					漢文に親しみ、漢文の表現に慣れる。	
9	○					○		○							
10	三 古文	4 物語	竹取物語「なよ竹のかぐや姫」	○	○	○							文章中の和歌の役割について理解する。		
10			伊勢物語「芥川」	○		○	○						登場人物の性格や心理の動きを読み取る。		
10			「あづま下り」	○		○	○						古人の恋愛の過程や結婚制度についての理解と認識を深める。		
11		5 軍記	平家物語「祇園精舎」 「木曾の最期」	○	○	○							戦いの中での人間の心理の動きを読み取る。		
11				○		○	○							軍記の文章表現の特色について理解する。	
12				6 和歌	万葉集 古今和歌集 新古今和歌集					○		○	○		古典詩歌を繰り返し音読し、和歌の韻律や内容を理解する。
12							○		○	○		和歌という表現方法の特質・価値について理解する。			
12							○		○	○		和歌や俳諧の発遣や表現技法を理解する。			
1	四 漢文	3 先代の史話	先従隗始	○			○		○				長い文章を読み、漢文の読解に慣れる。		
1			鶏鳴狗盗	○			○		○				様々な人物像を通して、人間の生き方について考えを深める。		
1			臥薪嘗胆	○			○		○				漢文の国語に与えた影響について理解する。		
2		4 唐代の詩	絶句「絶句」「登鶴鶴楼」 律詩「春望」「香炉峰下」	○					○		○		唐代の韻文を繰り返し音読し、漢文独特の口調に習熟する。		
3				○					○		○		唐詩の描く世界観について考えを深める。		